

国際交流についてのアンケート結果

県では、2018年（平成30年）にアメリカ合衆国ミシガン州との姉妹友好交流が50周年を迎えます。この機会に、半世紀にわたる交流が県民の皆さんにどれほど浸透しているのか、交流に対して満足していただいているのか、また今後の県の姉妹友好交流に対する可能性について把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成29年10月

★対象者：県政モニター398人

★回答数：307人（回収率77.1%）

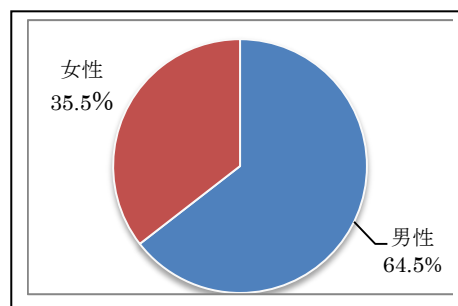
★担当課：商工観光労働部観光交流局 国際室

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

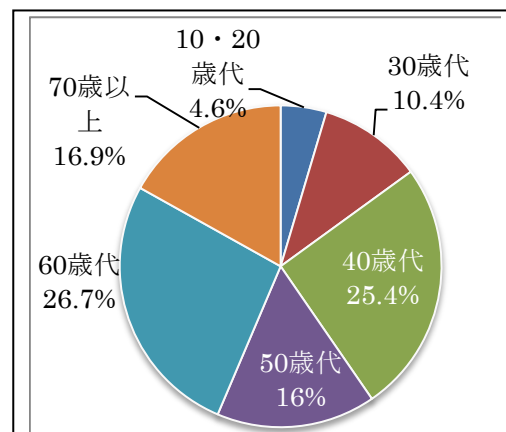
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	198	64.5
女性	109	35.5
合計	307	100



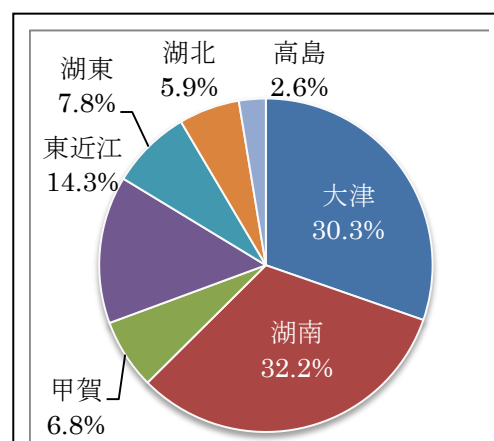
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	14	4.6
30歳代	32	10.4
40歳代	78	25.4
50歳代	49	16.0
60歳代	82	26.7
70歳以上	52	16.9
合計	307	100



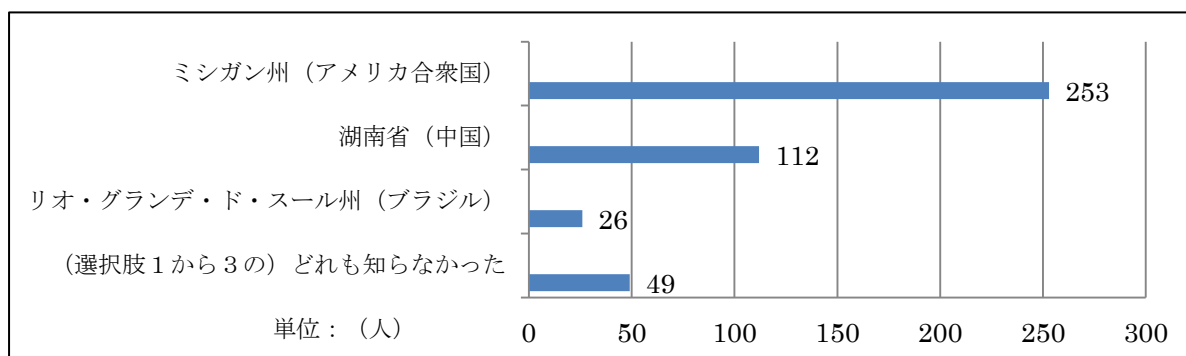
◆地域

項目	人数（人）	割合（%）
大津地域	93	30.3
湖南地域	99	32.2
甲賀地域	21	6.8
東近江地域	44	14.3
湖東地域	24	7.8
湖北地域	18	5.9
高島地域	8	2.6
合計	307	100



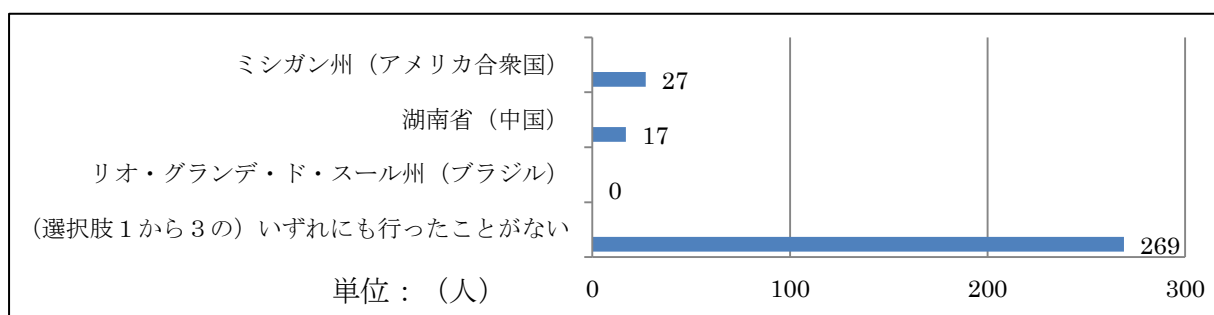
問1 あなたが県の姉妹友好州省として知っているものはどれですか。(回答チェックはいくつでも。 n=307)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ミシガン州(アメリカ合衆国)	253	82.4
2. 湖南省(中国)	112	36.5
3. リオ・グランデ・ド・スール州(ブラジル)	26	8.5
4. (選択肢1から3の) どれも知らなかった	49	16.0



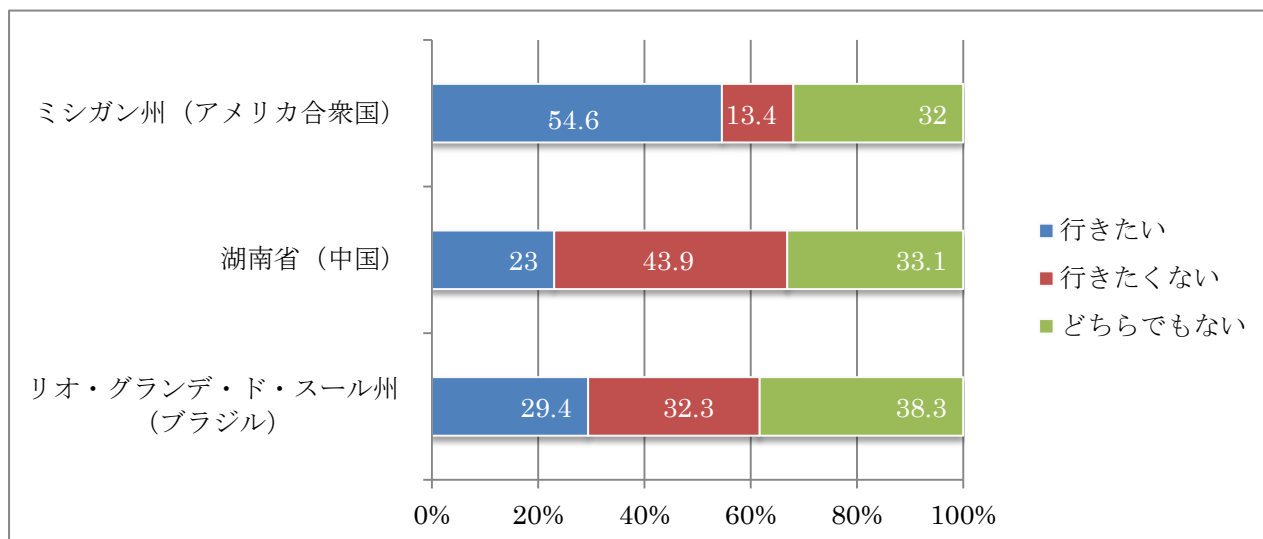
問2 県の姉妹友好州省のうち、あなたが行ったことがあるものはどれですか。(回答チェックはいくつでも。 n=307)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ミシガン州(アメリカ合衆国)	27	8.8
2. 湖南省(中国)	17	5.5
3. リオ・グランデ・ド・スール州(ブラジル)	0	0
4. (選択肢1から3の) いずれにも行ったことがない	269	87.6



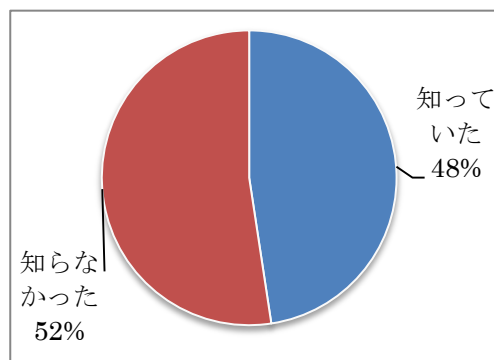
問3 問2で「4. (選択肢1から3の) いずれにも行ったことがない」と答えた方にお尋ねします。これらの州または省へ行きたいと思いませんか。それぞれについて、該当するものを選んでください。(回答チェックは各項目ごとに1つ。 n=269)

項目		人数 (人)	割合 (%)
ミシガン州 (アメリカ合衆国)	1. 行きたい	147	54.7
	2. 行きたくない	36	13.4
	3. どちらでもない	86	32.0
湖南省 (中国)	1. 行きたい	62	23.0
	2. 行きたくない	118	43.9
	3. どちらでもない	89	33.1
リオ・グランデ・ド・スール州 (ブラジル)	1. 行きたい	79	29.4
	2. 行きたくない	87	32.3
	3. どちらでもない	103	38.3



問4 あなたは県が姉妹友好交流の取組を行っていることを知っていましたか。(回答チェックは1つだけ。 n=307)

項目	人数 (人)	割合 (%)
1. 知っていた	146	47.6
2. 知らなかった	161	52.4
合計	307	100

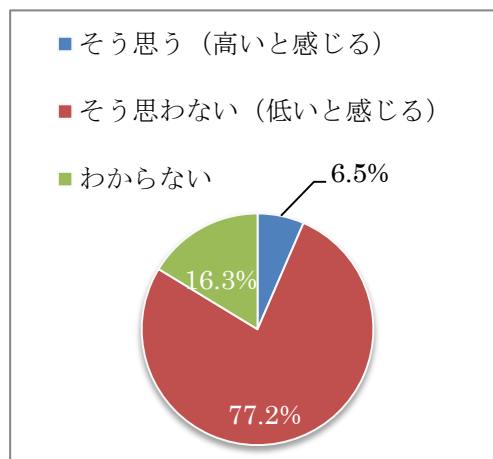


問5 問4で「1. 知っていた →問5へ」を選択した方にお尋ねします。
 姉妹友好交流の取組として知っているものを記入して下さい。【例】高校生派遣、ホームステイ受け入れ等）（任意）

- ・ ミシガン州立大学連合日本センターでの交流（留学生との交流、県民向け英語学習プログラム）
- ・ 中学生・高校生の相互派遣、交換留学
- ・ 友好親善使節団の派遣
- ・ ホームステイの受け入れ
- ・ 経済産業協会、議員等の視察
- ・ ミシガンボート
- ・ スポーツ交流
- ・ 滋賀県知事とミシガン州知事の相互訪問
- ・ 湖南省の湖の浄化
- ・ ブラジルへの短期留学

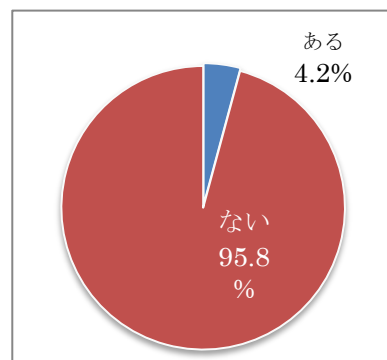
問6 あなたは姉妹友好交流に対する認知度は高いと感じますか。（回答チェックは1つだけ。 n=307）

項目	人数（人）	割合（%）
1. そう思う（高いと感じる）	20	6.5
2. そう思わない（低いと感じる）	237	77.2
3. わからない	50	16.3
合計	307	100



問7 あなたは県の実施した姉妹友好交流のイベントに参加したことはありますか。（回答チェックは1つだけ。 n=307）

項目	人数（人）	割合（%）
1. ある	13	4.2
2. ない	294	95.8
合計	307	100



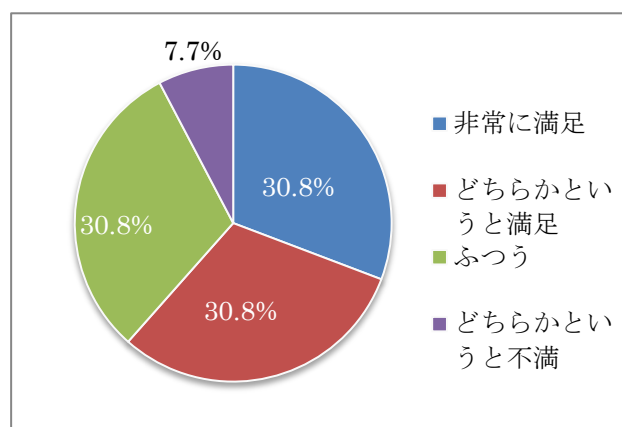
参加した姉妹友好交流のイベントの内容（「1. ある」を選んだ方のみ）。

- ・ホームステイの受け入れ
- ・湖南省ペーロン大会
- ・文化交流（大正琴、生け花体験、公開揮毫）
- ・スポーツ交流
- ・友好親善使節団への参加
- ・ミシガン州青少年派遣団への参加

問8 問7で「1. ある」と回答した方にお尋ねします。あなたが参加した交流イベントは満足いくものでしたか。理由も合わせてお答えください。（回答チェックは1つだけ。

n=13)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に満足	4	30.8
2. どちらかという満足	4	30.8
3. ふつう	4	30.8
4. どちらかという不満	1	7.7
5. 非常に不満	0	0
合計	13	100



その理由

〈非常に満足〉

- ・県内のペーロン普及に役立った。
- ・初めての外国だったし、実際の市民生活を体験できたことは、その後人生のうえで大変参考になった。
- ・異国の文化の違いに触れることができるため。
- ・まだまだ海外渡航の機会が少ない時に青年達が姉妹州のミシガン州を訪問し、歓迎を受けて、ホームステイをして国際交流の体験ができたことは彼らのその後の人生に非常に役立ったと思う。

〈どちらかという満足〉

- ・ライオンズクラブ主催の交流会。
- ・たまたま知り合い（ご近所のご夫婦でご主人が中国の方）と同じテーブルで話が弾み、国際交流に興味を持ったきっかけとなり、現在も日本語教室ボランティアをしています。ただ、そのパーティーでは他の方と話したり交流したりするチャンスはあまりなかったように思います。
- ・音楽は国境がないけれど、ことばの壁はある。何となく分かるけど話せないジレンマがあり通訳を介しては時間がかかる。スムーズに行けば満足になる。
- ・時間と経費の件で、十分とは言えない。

〈ふつう〉

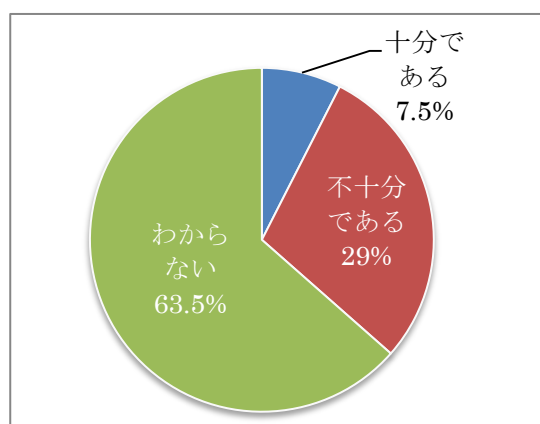
- ・特に援助もないから、ボランティアだから。
- ・昔のことで忘れてしまいました。
- ・書道パフォーマンスに三日月知事とともにミシガン州知事が参加され、見事な書のパフォーマンスに驚いた。
- ・特に工夫された企画進行ではなかったため。

〈どちらかという不満〉

- ・勿体ない、琵琶湖の保全説明なんかは論外と思います。

問9 あなたは現在の姉妹友好交流の取組が十分なものであると考えますか。(回答チェックは1つだけ。 n=307)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 十分である	23	7.5
2. 不十分である	89	29.0
3. わからない	195	63.5
合計	307	100



問10 ミシガン州、湖南省、リオ・グランデ・ド・スール州以外にも交流したら良いと思う国または地域があれば、理由も併せてお答えください。(抜粋)

スイス

- (理由)
- ・大きな湖の湖岸都市で、伝統性と先進性が共存している。
 - ・レマン湖の湖畔は琵琶湖にとってもよく似ているからです。

ロシア

- (理由)
- ・世界の古代湖のうちの一つであるバイカル湖への観光拠点だから。
 - ・イルクーツク州は、琵琶湖同様の古代湖であるバイカル湖があるとともに、バイカル湖博物館は琵琶湖博物館とも提携していることからより友好関係を深めるため。

カナダ

- (理由)
- ・湖があり、滋賀県とよく似た環境だから。
 - ・湖が多い地域という意味でもとても共通点があり、いいところだから。

ヨーロッパ諸国

- (理由) ・先進国として湖沼への環境保全、資源、住環境また観光や農業、工業、住環境などへの考え方を学ぶ、蓄積したものを交換する。
- ・古い町並みを保存している地域で、先祖から受け継ぐものの考え方に触れたい。

台湾

- (理由) ・日本語が話せる人が多く、友好的。
- ・台湾の人は親日家が多く、これを通じていろいろなところで交流が生まれそう。

タイ

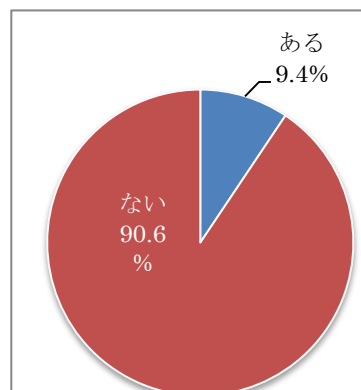
- (理由) ・びわ湖のような巨大な湖があり、地理的な環境等滋賀県と共通点がある。
- ・日本との交流も盛んで将来的発展が期待できる。

ベトナム

- (理由) ・発展が著しく日本に対する信頼がありそう。
- ・これからの世界、アジアを考えると重要だと思います。

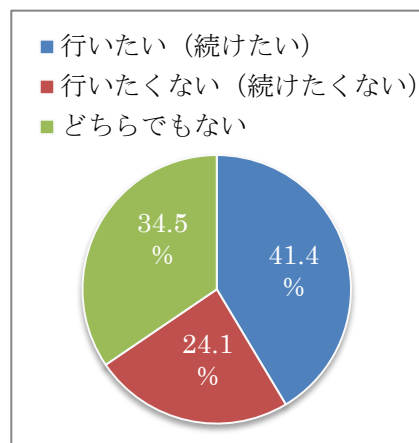
問11 あなたは今までにホームステイの受け入れをしたことがありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=307)

項目	人数(人)	割合(%)
1. ある	29	9.4
2. ない	278	90.6
合計	307	100



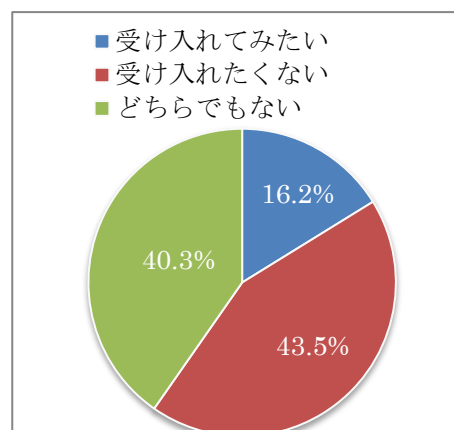
問12 問11で「1. ある →問12へ」と回答した方にお尋ねします。あなたは今後もホームステイの受け入れを行いたい(続けたい)と思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=29)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 行いたい(続けたい)	12	41.4
2. 行いたくない(続けたくない)	7	24.1
3. どちらでもない	10	34.5
合計	29	100



問13 問11で「2. ない →問13へ」と回答した方にお尋ねします。あなたはホームステイの受け入れをしてみたいと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=278)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 受け入れてみたい	45	16.2
2. 受け入れたくない	121	43.5
3. どちらでもない	112	40.3
合計	278	100



問14 現在、または今後の姉妹友好交流の取組について御意見があれば記入してください。(抜粋)

- ・もう少し大々的に広報してほしいし、敷居を下げしてほしい。
- ・今後も今以上に取り組んで頂きたいと思います。
- ・中長期的な戦略をもって、積極的な関係づくりをして欲しい。
- ・姉妹都市交流で老人が出来ること、又は老人向けの交流方法をPRして下さい。
- ・具体的に何が出来るということは言えないが、推進していくのは賛成です。何かの機会に協力参加できることがあれば参加します。
- ・図書館や学校図書館に外国図書が少ない。情報交流で、姉妹都市の図書館と連携して、毎年図書を充実させてほしい。
- ・最近では都会、田舎関係なく交流出来るホームステイ受け入れが近くでされているのを聞いたり、見たりで出来れば受け入れてみたいと家族で話が出る。
- ・国際交流に興味があるので自分にできることがあればしてみたい。
- ・あまり内容を知らないが、高齢者の文化交流を深めるイベントがあればよい。
- ・価値がわからない、効果の検証をなされていますか。
- ・若いときに、異文化に触れあうことは、その人の人間形成に果たす役割は大きいものがあると思うので、観光では味わうことのできない姉妹友好交流の取組は大変いいことだと思う。我が家にも、大学生がいるのでできれば参加させたい。
- ・学生時代ならまだしも、就職している私が交流事業に参加するには、所属している企業としての努力と理解して頂けるように、行政としての取り組みが必要である。会社を休んで参加するわけですから、休んでいる間の給料保障や渡航にあたっての資金援助など、社会人が参加するには様々なハードルがあると感じています。
- ・もっと県民が興味をもてる交流をしてほしい。具体的に何かといわれると困るが。県民の日常的な祭りやイベントに参加交流をもっとすればと思う。
- ・姉妹友好交流は予算があれば、出来るだけ多くの国と行うようにするべきと思う。滋賀県と考えずに、関西グループ、大学グループ、鉄道グループ、湖グループ等いろいろのアイテム毎に分類して、行うことが良いと思う。
- ・言葉の問題など敷居が高く感じるため、通訳の方がフォローされる体制が整っているなど体験したいと思っている誰もが足を運べるような発信をしていくことが必要だと思

ます。

- そもそも姉妹都市がまだ必要なのか見直す必要がある。やめてしまったほうが費用対効果でプラスになるのではないか。
- 姉妹友好交流も増やし、国際的に国際交流はこれからの滋賀県には重要で、大切な取り組みとして増やしていくべきと思います。
- 県の姉妹友好交流は、湖沼を通じた交流だけのように感じている。また、一部の人のだけの交流と感じている。身近に感じる交流が必要ではないか。